

令和6年11月定例会 概要 (会期 11月27日～12月17日)

令和6年11月定例会県議会では、佐賀空港の自衛隊使用要請や滑走路延長及び並行誘導路整備関連をはじめ、SAGA2024国スポ・全障スポ関連、県立大学の設置関連、九州新幹線西九州ルート関連、子育てし大県“さが”関連、県内道路整備関連などを中心に県政全般にわたり幅広い議論が展開されました。

令和6年度補正予算案については、提出された5件の予算案が原案のとおり可決及び承認されました。



○令和6年度補正予算関係

- ・令和6年度佐賀県一般会計補正予算 (増額後総額約5,591億3,500万円、対前年同期比3.8%減)
- ・佐賀県育英資金特別会計補正予算 など計5件

令和6年11月定例会で条例などが次のとおり採決されました

■ 条例 (9件可決)

○刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

【内容】 刑法の改正によって懲役及び禁錮が廃止され、拘禁刑が創設されることに伴い、佐賀県統計データ利活用推進条例ほか19条例について、所要の改正を行うもの。

○佐賀県産業廃棄物税条例の一部を改正する条例

【内容】 現行課税制度を5年間延長し、令和11年度まで継続するもの。(その後の継続については令和11年度を目途に再度検討)

他7件

■ 請願 (2件採択)

○私学助成の大幅増額・教育費の保護者負担の軽減・教育条件の改善をもとめる請願書

○重心医療の現物給付に関する請願

■ 意見書 (2件可決)

○福祉医療機構が行う社会福祉施設職員等の退職手当共済制度に係る公費助成の継続を求める意見書

○医療・介護等を提供するための適切な財源確保を求める意見書

その他の議案等はこちら→

令和6年11月定例会
議案採決結果一覧表 (PDF)



主な内容

・令和6年11月定例会の概要、採決された条例・請願など	1
・本会議質問 15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨	2～5
・委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項など	6～7
・その他の議会活動など	8

「佐賀県議会 映像配信」や「会議日程」、「会議録」などがご覧いただけます。

佐賀県議会 検索



議案に対する議員の表決態度(賛否)は、県議会ホームページで公表しています。(佐賀県議会 → 議案等の審議結果 → 議案件名一覧)



本会議質問

各議員が行った質問の中から一部を紹介いたします。

質問議員

※質問順

一般質問

12月3日(火)

- 古川 裕紀 (自由民主党)
- 徳光 清孝 (県民ネットワーク)
- 中本 正一 (公明党)
- 下田 寛 (県民ネットワーク)
- 原田 寿雄 (自由民主党)

12月4日(水)

- 一ノ瀬裕子 (自由民主党)
- 中村 圭一 (自由民主党)
- 武藤 明美 (日本共産党)
- 藤木卓一郎 (自由民主党)
- 青木 一功 (自由民主党)

12月5日(木)

- 田中 秀和 (自由民主党)
- 石倉 秀郷 (自由民主党)
- 古賀 和浩 (自由民主党)
- 野田 勝人 (県民ネットワーク)
- 古賀 陽二 (自由民主党)



各議員の質問一覧は「佐賀県議会映像配信」で確認できます。

政策・総務



県立大学について



県立大学の開学時期は、令和11年4月を目標としており、大学の設置認可申請は開学の1年半前である令和9年10月に行う必要があると聞いている。入学定員やカリキュラム、入試制度などの検討を早急に進め、大学の具体的な姿を県民へ提示する必要がある。

運営体制や建設など、今後のスケジュールについてどのように考えているのか。



県立大学は地方独立行政法人である公立大学法人による運営を想定しており、現在は他県の公立大学の運営状況についてヒアリングや調査を進めているところである。公立大学法人の設立は、文部科学大臣から大学設置認可

可がされた後に県議会の議決を経て、文部科学大臣と総務大臣の法人設立認可を受け、令和11年4月に法人を設立することとなる。

大学建設のスケジュールについては、今年度末までに設計業者の決定や契約の締結ができるよう準備を進めている。令和7年から8年にかけて校舎の設計を行い、令和9年から総合庁舎の改修や新校舎の建設を進めていきたいと考えている。

取り組むべきことは多々あるが、令和11年4月の開学に向けて着実に前進させていきたい。

佐賀空港の自衛隊使用要請への対応について

令和7年7月以降に佐賀駐屯地(仮称)が開設される予定となっている。

事故などにより漁業への被害が発生した場合、今後創設予定の有明海漁業の振興と補償のための基金から、国による補償などが行われるまで

の間、必要な費用を無利子で一時的に立替えができるよう検討している。伺っている。

もしも農地や一般住宅等に被害が発生した場合、漁業者以外であってもこの基金から無利子で一時的な立替えを受けられることができるのか。



平成30年8月に県と防衛省との間で確認した合意事項の一つに、基金の創設がある。具体的には、有明海の漁業振興事業と、駐屯地の運用に伴い生じた漁業被害等に関し、国による補償が行われるまでの間、必要な費用を無利子で一時的立替えに充てるための基金であり、有明海漁協など意見交換を行いながら、令和7年度の創設に向けて準備を進めていく。

もしも事故等が起きた場合、被害の対象にかかわらず補償などは国の責任において行うべきと考え、農業被害であれば、住宅被害であれば、国の補償までに時間がかかる場合は、県としては漁業被害

と同じような立場で対応していく。



佐賀駐屯地（仮称）整備の様子（佐賀市）

そして、佐賀空港に未だ設置されていない平行誘導路整備も併せて実施する必要があり、知事から防衛大臣に提案され、大臣からも全面的に協力すると返答されたと言っている。

滑走路延長及び平行誘導路整備について今後どのように取り組んでいくのか。

答

滑走路延長のために必要な環境影響評価は、4段階のうち2段階目である方法書の作成が終了しており、現在、3段階目である準備書の作成に向けて現地調査を実施しているところである。また、認可取得に向けて航空局との協議も継続実施しており、令和15年度までの供用開始に向けて取り組んでいく。

平行誘導路整備については、令和7年7月に予定されている自衛隊駐屯地の開始も重なり、滑走路を使用する航空機が増加するため、全ての航空機の円滑な運航を可能とする平行誘導路の整備が望ましい

地域交流



九州佐賀国際空港の滑走路延長及び平行誘導路整備について

問

県は佐賀空港の発展を目指し、滑走路を現在の2000メートルから2500メートルへの延長に向けた取り組みをされている。

いと考えており、防衛省とも連携して取り組んでいく。

有明海における漁業者の皆様への影響を考慮すると、滑走路延長と平行誘導路整備は同時の工事が望ましいと考えており、引き続き具体的な協議、検討を進めていく。

「SAGA2024」と佐賀県の今後の発展について

問

若楠国体以来48年ぶりとなる「SAGA2024」国スポ及び全障スポは、「国体」から「国スポ」に代わる新しい大会として大きな成功を収めた。

「SAGA2024」は通過点であり飛躍点であると思うが、佐賀をどのように飛躍させようとしているのか。

答

「SAGA2024」では様々な関係団体が「する」、「観る」、「支える」などのスタイルで関わったため、この関わりをさらに広げていきたいと考えている。

る。これから集まってくる新たな仲間と共に、今回育まれた絆をより強くし、さらにチームSSPとしてこの構想を推進したいと思う。現在、* SSP構想推進条例を検討しており、令和7年2月議会の提案に結びつくよう議論を重ねている。



自分なりのスタイルでスポーツを楽しむ文化が佐賀で着実に生まれ、これがさらに経済的な効果、「稼ぐ」というところまで広がり、まちづくりそのものになっていくばいいと思っている。



SSP構想のもと、世界標準の新しいスポーツ文化の花を開かせ、日本に広めていきたいと思う。これからさらにこの佐賀の地から日本の新しいスポーツ政策、スポーツシーンを切り開き、世界に誇れる佐賀に結びつけていきたい。



※SSP
(SAGAスポーツプラミッド)構想

佐賀から世界に挑戦するトップアスリートの育成を通じて、スポーツ文化の「する」「育てる」「観る」「支える」「稼ぐ」の裾野を拡大し、スポーツのチカラを活かした「人づくり」「地域づくり」を進めるプロジェクトの中心。



フェムケアの取組みについて



県は、*フェムケアに着目した取組みを打ち出した。

県がフェムケアに取り組むことは、県内企業が女性の働き

やすい職場環境を整備することを後押しするものになると大いに期待している。
企業に対してはどのようにフェムケアを広めていくのか。



生理痛など女性の健康課題について、できるだけ多くの県内企業にも理解を深めてもらいたいと思うている。今回、企業が女性の健康課題について気づき、

知り、受け入れるきっかけとなるように、「フェムケアSAGA」の開催を提案した。

「フェムケアSAGA」では女性の健康課題に気づいてもらうために、*フェムテックを福利厚生に取り入れた企業等によるパネルディスカッションの開催や、女性の健康相談アプリなどのサービス紹介、男性も生理痛を体験できるワークショップの実施などを予定している。

企業が女性の健康課題について理解を深め、痛みに共感し寄り添うことは、女性を後押しするメッセージになり、働く女性のモチ

ベーションの向上につながると思う。女性の健康課題について男女がお互いに理解しようとする気持ち企業が思いやりの輪を広げ、よりよい職場環境の整備などの取組みにつながるように、そして若年世代の女性に佐賀の企業で働きたいと思ってもらえるよう、取組みを進めていきたい。



※フェムケア、フェムテック
女性特有の健康課題に向き合い、和らげる取組みのこと。

福祉人材の確保について



県内の複数の短期大学は、介護福祉士や保育士といった福祉の専門人材を養成し、輩出している。

介護・保育の現場から人材が不足しているという声があり、介護・保育分野の人材確保が重要な課題となる中、養成施設である短期大学は人材確保のために必要不可欠な

存在であり、連携が特に重要と考える。

介護・保育人材の養成施設である短期大学との連携について、今後どのように取り組むのか。

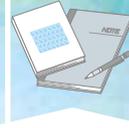


介護人材の確保については、体験などを通じて介護の仕事に興味関心を持ってもらうこと、介護に関する学びの場があること、県内の介護現場への就職を支援すること、待遇や職場環境の改善を通じ、働きたいと思えるような職場環境づくりを進めることで人材の定着を図っていくといった多面的な取組みが必要と考えている。

教育機関、介護事業者、福祉関係の団体、県などがそれぞれの取組みを進めることに加え、その効果を高めていくために連携を図っていききたい。

保育人材の確保については、保育という職業の尊さや魅力を子どもたちや保護者に伝えてイメージアップを図り、子どもの頃の夢や

教育



憧れを進路選択につなげるための実効性のある取組みについて進めていく必要がある。短期大学や保育団体と意見交換を進めていきたい。

不登校のこどもたちのための教育支援センターについて



不登校のこどもたちの中には、学校に行くことができなくても、学校とは別の場所にある教育支援センターには通えるこどもたちもいる。現在、県内18市町の20か所に市町の教育支援センターが設置されているが、各市町で運営されているため、人や場所、財政的な問題がある。

市町の教育支援センターへの県の支援が必要だと考えるが、県教育委員会の見解を伺いたい。



市町の教育支援センターでは、市町の実情や児童生徒の状況に応じて指導員が保護者や学校と連携しながら、学習支援や集団生活への適応、情緒の安定に向けた支援等が行われている。

市町の教育支援センターについては、実施主体である市町の判断で必要な体制を整え、予算措置されているが、そうした市町のセンターが充実強化に取り組み際の補助を令和4年度から実施している。具体的には、専門のスタッフを配置するなど関係機関との連携を図ったり、学校や保護者への助言を行うなどのコーディネート事業を実施する場合、経費の一部を補助している。総合的な不登校対策、取組みにおいて、市町では取り組みにくいところへ県教育委員会が直接事業を実施することで市町を支援したり、市町の事業に対して補助を行うなど対応しているところである。

学校は全ての児童生徒にとって安心できる居場所、魅力ある学びの場でありたいと思っており、で

きれば外部に通う場合でも学校とつながってほしい、学校でなくても教育支援センターや訪問支援など、児童生徒にとって安心できるところにつながってほしいと願っている。今後とも、児童生徒が一人一人の状況に応じた支援を受けられることができるよう、市町と連携しながら引き続き充実を図っていく。

県及び各市町の教育支援センターの詳細についてご覧いただけます。

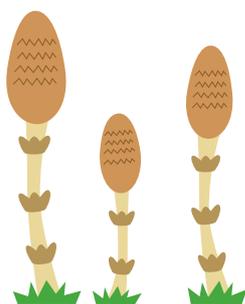


この他、県政全般について幅広い議論が行われました。

【主な質問項目】

- ・居場所をなくしたこどもの受け入れ支援について
- ・RSウイルス感染症の予防について
- ・沖縄県先島諸島からの住民避難について
- ・九州新幹線西九州ルートについて
- ・原発行政について
- ・佐賀県の広報について
- ・唐津市沖の洋上風力発電について

など





総務常任委員会

付託議案12件が原案可決、1件が承認、2件が同意、
請願1件が採択されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 県職員給与条例等の一部改正
- 教育委員会委員の任命について

【主な質疑事項】

- 佐賀空港の自衛隊使用要請への対応について
- 沖縄県先島諸島からの住民避難について
- 情報発信プロジェクト「サガプライズ！」について など

【現地視察の様子】



岩屋川内ダム
(サガプライズ!「ゴジラ対(ついでに)サガ」の概要について)

文教厚生常任委員会

付託議案4件が原案可決、請願1件が採択されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 県立視覚障害者情報・交流センターの管理について

【主な質疑事項】

- 重度心身障害者医療費助成の現物給付方式への移行について
- こども施策のこれからについて
- 児童虐待の防止について
- がん対策について
- 栄養教諭について など

【現地視察の様子】



玄海原子力発電所
(緊急時対策棟について)

農林水産商工常任委員会

付託議案5件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 佐賀県中小企業融資に係る事業再生等のための措置に関する
条例の一部を改正する条例
- 佐賀県射撃研修センターの管理について

【主な質疑事項】

- 美の「コスメギフト」事業の展開について
- 県の産業団地（佐賀コロニー跡地）について
- 主要農産物の近年の生産状況と今後の展開について など

【現地視察の様子】



低コスト耐候性ハウス（きゅうり）
(統合環境制御技術による農業経営の展開について)

地域交流・県土整備常任委員会

付託議案4件が原案可決されました。

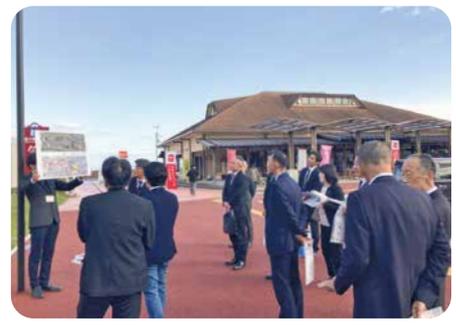
【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 港湾整備事業特別会計補正予算
- 建築基準法施行条例の一部改正

【主な質疑事項】

- 九州佐賀国際空港について
- 空き家対策について
- 佐賀県地域公共交通利用実態調査事業について など

【現地視察の様子】



道の駅 鹿島
(再整備の状況について)

「九州国際情報ビジネス専門学校、九州国際高等学園」及び「産業技術学院」を訪問し、運営状況等についての説明を受け、質疑や意見交換、授業見学を行いました。



九州国際情報ビジネス専門学校
(専修学校の運営状況等について)

決算特別委員会の決算審査概要



決算特別委員会の様子は「佐賀県議会映像配信」でご確認ください。

令和6年11月5日から11月15日まで決算特別委員会を開催し、「令和5年度佐賀県歳入歳出決算の認定について」、「令和5年度佐賀県工業用水道事業決算の認定について」以上2件の議案が審査され、いずれの議案も全会一致で認定されました。

【主な審議内容】

総務常任委員会関係

- ・情報発信プロジェクト「サガプライズ！」の話題性と効果が最大限発揮される取組み
- ・自転車利用者のヘルメットの自発的な着用促進に向けた取組み

文教厚生常任委員会関係

- ・発達障害などの入院治療の必要な子どもたちに充実した診療体制を構築する取組み
- ・「さがすたいる」の更なる認知度向上に向けた取組み
- ・それぞれの目標に向かって進む生徒を応援する県立夜間中学校の取組み

農林水産商工常任委員会関係

- ・適切な施設更新などによる安定した工業用水供給への取組み
- ・農業産出額の増加につながるさが園芸888運動への取組み
- ・高校生のニーズに則した県内就職率向上に向けた取組み

地域交流・県土整備常任委員会関係

- ・県内建設業の担い手の確保・育成に向けた取組み
- ・ARKSの周辺地域との連携による更なる利活用の取組み
- ・地域における多様な交通手段が持続可能となるような利便性向上に向けた取組み

【委員名簿】

委員長 古賀 陽三

副委員長 富田 幸樹

委員 酒井 幸盛、土井 敏行、木原 奉文、岡口 重文、池田 正恭、徳光 清孝、
中本 正一、猪村利恵子、古賀 和浩、指山 清範、古川 裕紀、下田 寛 <年齢順>



◆台湾行政院政務顧問の野崎氏による講演会を開催しました

令和6年8月に外国人として初めて台湾で台湾行政院政務顧問に就任された野崎孝男氏を招いて、12月18日に、佐賀県議会日台友好促進議員連盟の講演会を開催しました。

野崎氏には、台湾や台南市についての情報、頼清徳総統、台湾経済、佐賀県と台湾の関わり、今後の日台関係など5つのテーマについて、現地での生活の感覚を交えながら講演いただきました。

▶佐賀と台湾の交流について語る野崎孝男氏



▶講演の様子



◆蓮池薫氏を迎え「拉致問題を考える県民の集い」を開催しました

佐賀県議会北朝鮮拉致問題早期解決促進議員連盟では、北朝鮮による拉致問題の全容解明及び一日も早い拉致被害者の救出支援を目的として、県議会議員有志により活動を行っております。

その一環として令和7年1月8日鳥栖市民文化会館において、拉致被害者である蓮池薫氏を講師に迎え、「拉致問題を考える県民の集い」を佐賀県及び北朝鮮に拉致された日本人を救出する佐賀県民の会と共催しました。

▶蓮池薫氏講演



▶議員連盟石倉会長挨拶



佐賀県議会事務局政務調査課 TEL 0952-25-7306 FAX 0952-25-7279
〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番45号 E-mail gikai@pref.saga.lg.jp
ホームページ https://www.pref.saga.lg.jp/gikai/

お読みになった感想やご意見を
お寄せください

「さが県議会だより」の次号は、6月1日発行です。

佐賀県議会会議録

平成11年以降の
会議録を検索できます

インターネット中継

本会議（委員会）の様子を
リアルタイムで視聴できます
（開会中のみ）

録画放送

インターネット中継の日から
4営業日後を目途に
公開しています（土日祝除く）

令和元年以降の
映像を公開
しています!

UD FONT
風やまい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。